

人生100年時代が到来！アクティブシニアほど日常生活を楽しんでいる傾向に！
埼玉県在住の男女に「地域活動」についての調査を実施

地域デビューしていない人のうち 何らかの改善が必要と考えている人は約40%！

地域活動は限定的で時間がかかるイメージで、実態と大きな差？

埼玉人生100年時代の楽しみ方研究所は、埼玉県在住の55歳～69歳の男女に地域活動に関する意識調査を実施いたしました。本研究所では、これまでよりも長い時間を過ごすことになる「人生100年時代」を楽しく、健康に活力を持って過ごしていくために重要となる「つながり」のきっかけとなるのが地域活動と考えています。そこで、地域デビューしていない人が持つイメージより、地域活動は幅広く、時間や労力がかかるものばかりではないことを知っていただきたいです。

調査結果概要

本調査では、初めて地域活動に参加することを「地域デビュー」と定義し、地域デビューした、地域デビューしていない（意向あり）、地域デビューしていない（意向なし）の3パターンに分類し、地域での友人数や人生100年時代に対する意識などの項目に分けてイメージ分析を実施しました。

調査では、そもそも地域活動の捉え方に、大きな意識の差があることが分かりました。本研究所では地域活動を「地域住民が笑顔になれるように活動すること」や「地域住民と交流してつながること」など幅広い活動と考えていますが、これらが地域活動であると回答した人は20%に満たないという結果でした。

地域活動のイメージが限定的であり、そのことで地域デビューのハードルが高くなっていると考えられます。また、地域デビューしていないが「何らかの改善が必要である」と考えている人は約40%となりました。それらの人が地域デビューしていない主な理由は「仕事が忙しい」「面倒だと思ふ」という結果でした。一方で、地域デビューしている人が1回あたりに地域活動に使っている時間は「1時間未満」との回答が50%を超えています。

また、地域デビューしている人のうち、仕事をしている人は約60%という結果でした。地域活動の実態と、実施していない人のイメージに大きな差があることが分かりました。

TOPICS

● 地域活動の捉え方に大きな意識の差？

様々な地域活動の選択肢がある中で、地域デビューしていない人（意向なし）の45%が

「あてはまるものはない」と回答

● 地域デビューしていない人のうち、**何らかの改善が必要と考える人は約40%**

「地域デビュー」の実施状況については、80%が地域デビューをしていないとの回答

● 働いている人の多くが「忙しさ」で地域活動を実施できていない？

地域デビューを実施しない理由は35.6%が**「仕事が忙しいため」**と回答

● 地域活動の1回あたりに掛ける時間は、**54.1%が1時間未満**で気軽に実施！

地域活動を実施する頻度は「1～3ヶ月に1日程度」が51.7%という結果に！

* 本資料に含まれる調査結果をご掲載頂く際は、必ず『埼玉人生100年時代の楽しみ方研究所』と明記下さい。

調査概要

●地域活動に関する意識調査

調査エリア：埼玉県
調査対象者：55～69歳の埼玉県在住者
サンプル数：600
調査期間：2018年7月6日～7月9日
調査方法：インターネット調査

■実施者：埼玉人生100年時代の楽しみ方研究所
(埼玉県共助社会づくり課)
■所在地：埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
■県概要：関東平野の内部に位置する内陸県で、面積はおよそ3800平方キロメートルと全国で39番目。人口は約736万人(全国5位)
※埼玉県町(丁)字別人口調査 平成30年1月1日現在

イメージ分析による人物像

地域デビューした人は、友人や趣味が多く、人生100年時代に対してもポジティブな印象を持っている傾向にあることがわかりました。一方、地域デビューしていない(意向なし)人では、一人で活動することが多く、友人もあまり多くないということがわかりました。

また、地域デビューしていない(意向あり)の人では、地域デビューしたいという思いはあるものの、仕事を重視している傾向があり、人生100年時代に対してもネガティブな印象を持っているということがわかりました。



地域デビューした人

アクティブシニア

地域内に友人が多い

多趣味で、
多くの活動に参加している

人生100年時代に対しても
ポジティブ



地域デビューしていない人
(意向あり)

仕事重視・ 退職後不安高め

仕事を大事にしている

退職に対する
不安が強い

人生100年時代に対しては
比較的ネガティブ



地域デビューしていない人
(意向なし)

無関心・現状満足

友人はあまり多くない

退職に対する
不安はあまりない

テレビやラジオなど、
一人での活動を楽しんでいる

Q.地域活動の捉え方に大きな意識の差？

本調査では、「地域活動」に当てはまると思うものを選択肢の中から選んでいただきました。「町内会・自治体への参加」や「ボランティア活動・市民活動への参加」、「地域で実施している祭事への参加」については、地域デビューした人、地域デビューしていない人ともに高い割合で「当てはまる」と回答しているものの、地域デビューしていない人は、他の選択肢について、ほとんどの項目で80%程度が「当てはまらない」と回答。また、地域デビューしていない人(意向なし)の45.0%が選択肢の中で「あてはまるものはない」と回答しており、地域デビューした人としていない人の間でも、こういった活動が「地域活動」なのかについて認識の違いが大きいことがわかりました。

Q 「地域活動」とは？



生活者が想像するイメージ



「埼玉人生100年時代の楽しみ方研究所」が想像するイメージ

生活者がイメージする地域活動の定義は、研究所がオススメする地域活動よりも狭い

地域活動のハードルが高く、選択肢が狭く、踏み出しにくい現状が明らかに！

Q.地域活動を実施していない人のうち、何らかの改善が必要と考える人は約40%

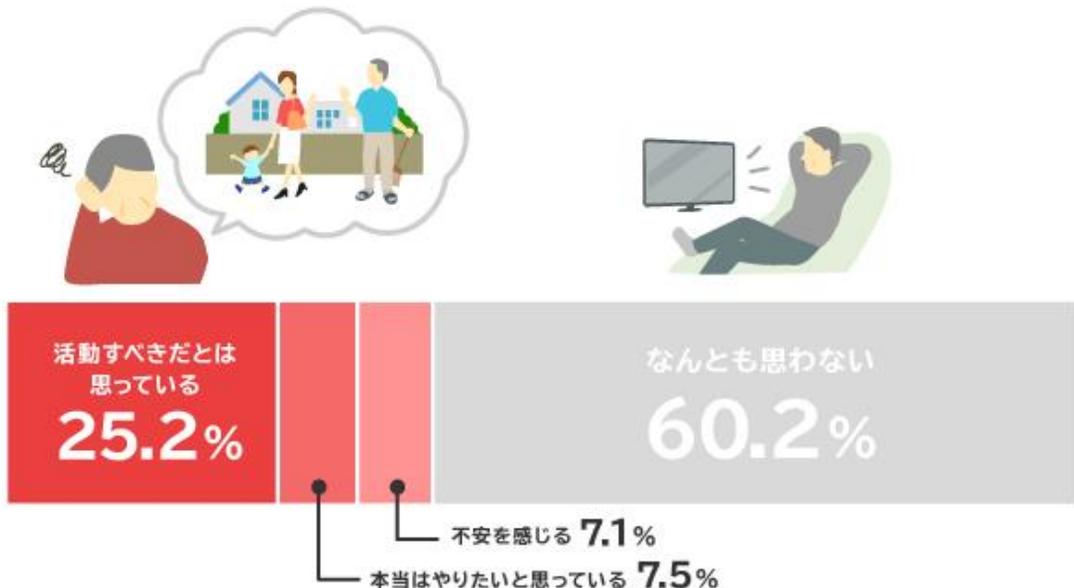
地域活動に初めて参加する「地域デビュー」の実施状況については、80%が地域デビューをしていないとの回答で、まだまだ地域活動に踏み出していないことが分かりました。※地域活動の捉え方は回答者の主観

しかし、地域デビューしていない人のうち約40%は「活動すべきだとは思っている」「本当はやりたいと思っている」「（地域デビューしていないことに）不安を感じている」と、何らかの改善が必要だと感じているという結果となりました。

Q あなたは現在地域デビューをしていますか。



Q: 地域デビューをしていない事についてどのように感じていますか？

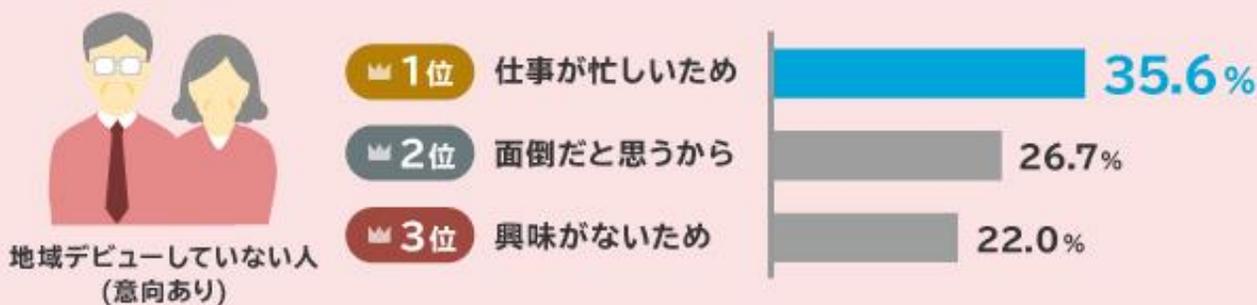


地域デビューをしていない人は80%と多くみられるが、
地域デビューに対する危機感として、39.8%は何らかの改善が必要と考えている。

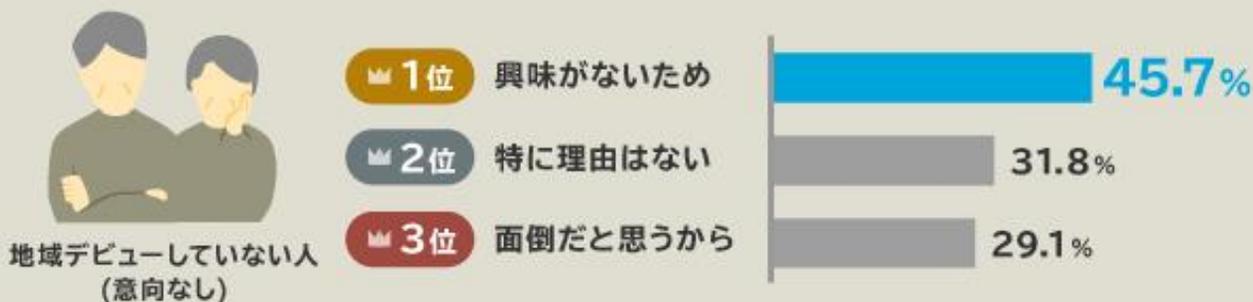
Q.働いている人の多くが「忙しさ」で地域活動を実施できていない？

地域デビューしていない理由については、地域デビューしていない（意向あり）では「仕事が忙しいため」（35.6%）と、時間的な要因の多い結果でした。なお、地域デビューしていない（意向なし）では、「興味がないため」（45.7%）、次いで「特に理由はない」（31.8%）と、そもそも地域活動に対して関心が低いことが分かりました。

Q あなたが地域デビューをしない理由は何ですか？



仕事が忙しく地域活動をする時間がないと感じている？

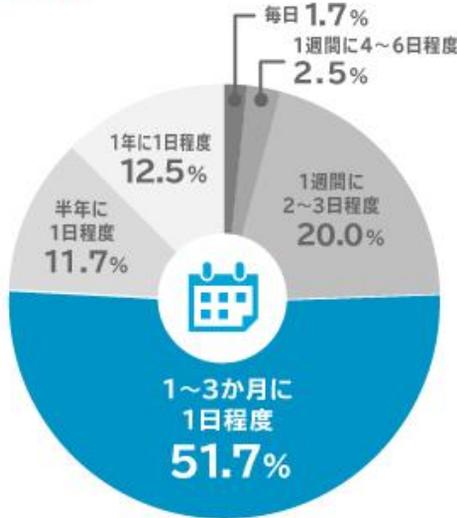


地域活動への興味・関心が低い傾向がある

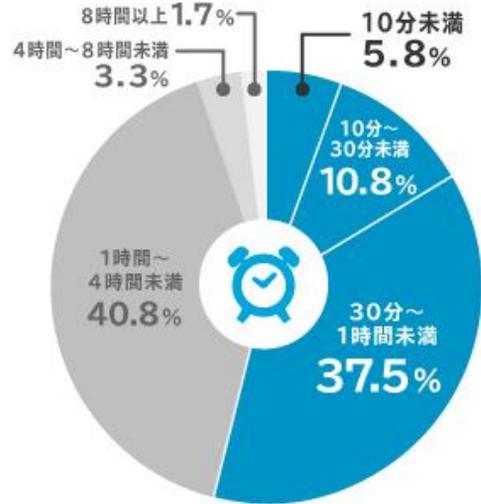
Q.地域活動の1回あたりに掛ける時間は、54.1%が1時間未満で気軽に実施！

地域活動を実施している人の1回あたりの活動時間を調査したところ、54.1%が1時間未満という結果でした。トピックス③では「仕事が忙しい」が地域活動していない理由として挙がっていたものの、実際は1時間未満で気軽に活動している人が多いことが分かりました。また、地域デビューした人のうち約60%は仕事をしているという回答でした。

Q 地域活動の頻度



Q 地域活動の1回当たりの時間



地域活動は1~3ヶ月に1日程度が過半数、1時間未満が54.1%と
短時間でも参加出来る



仕事をしている
約60%

地域デビューした人

COMMENT

澤岡 詩野 氏

公益財団法人 ダイア高齢社会研究財団 研究部 主任研究員

●プロフィール：東京工業大学大学院卒、工学博士。研究テーマは高齢期の社会関係。

●論文：【都市高齢者の近隣との関わり方と支え合いへの意識：非常時と日常における近隣への意識に着目して】

【市高齢者のボランティア活動と継続意識：よこはまシニアボランティアポイント制度登録者における検討】



もっと時間ができてから、身体が万全になってから！もっと調べてから、自分にあう場が見つかったから！！
など、地域デビューに完璧な姿を求めていますか？大事なものは、地元でマイペースに楽しく、気軽に自分の為
に続けられることです。いつも散歩ですれ違う人に挨拶をしてみる、地元のお祭りの片づけを手伝ってみる。
まずはそんなことから始めてみてください。そこで出会う誰かは、あなたがこれからやってみたい何かの仲間
に、地元で豊かに歳を重ねる為の宝になるはずですよ。

■ 人生100年時代とは？

日本人の平均寿命は年々伸びています。男性の4人に1人、女性の2人に1人は90歳まで生きています。

※1 2007年生まれの日本人の“半数”が到達する寿命は107歳という推計もあります。※2 「100歳まで生きる」が特別なことではない「人生100年時代」に突入しました。

※1 (厚生労働省平成29年簡易生命表「寿命中位数等生命表上の生存状況」)

※2 (東洋経済新報社リンダ・グラットン/アンドリュー・スコット著「LIFE SHIFT100年時代の人生戦略」)

■ 埼玉人生100年時代の楽しみ方研究所とは

埼玉人生100年時代の楽しみ方研究所では、人生100年時代の楽しみ方を考え、検討し、楽しみ方のヒントとなるコンテンツを提供します。本研究所が、特に重要だと考えているのは「つながり」です。

「つながり」は健康や安心、居場所や活躍の場づくりに寄与するからです。自宅を中心とした「地域」でのつながりの第一歩となるのが地域デビューです。そこで、本研究所は地域デビューによって「つながり」を得て、より豊かな人生100年時代を過ごすためのヒントを提供していく所存です。

研究コンテンツや最新情報はホームページを御覧ください。<http://kyojo.saitamaken-npo.net/100lab/>

■ 取材のご案内

本研究所は、市町村・ボランティア団体・家族等が地域デビューしていないシニアに対して、地域活動の効用やはじめ方を説明するためツール(プレゼン資料等)を作成しております。その試作品を市町村職員を対象に説明するため、「埼玉人生100年時代の楽しみ方研究所による制作物試作品説明会」を実施する運びとなりました。報道機関の皆様におかれましてはその様子を是非取材していただきたく、御案内いたします。

【概要】

日時 平成30年10月18日(木)14時00分から16時30分

会場 埼玉県庁第3庁舎(4階)講堂

さいたま市浦和区高砂3-15-1 (浦和駅西口から徒歩約10分)

対象 市町村職員、市町村社会福祉協議会職員

内容 市町村職員等が現場ですぐに使える地域デビュー支援ツールの試作品の説明
(セミナー用プレゼン資料や家族向け地域デビューひっぱりエール集等)